

11月定例会のあらまし

令和4年度補正予算を可決

令和4年11月24日から12月16日までの23日間にわたって、11月定例会を開催しました。

定例会では、台風15号被害への対応と原油価格・物価高騰等対策に要する経費などを計上した令和4年度一般会計補正予算、静岡市不良な生活環境を解消するための支援及び措置に関する条例の制定についてなどの議案40件、請願2件を審議しました。

12月16日の本会議最終日には12月8日、9日に開催した各常任委員会の審査結果が報告され（6面掲載）、表決の結果、市長提出議案を全会一致または賛成多数で可決、議員発議による議案を賛成少数で否決しました（7面掲載）。

タブレット端末を活用したペーパーレス会議を試行

本定例会から、タブレット端末を活用したペーパーレス会議の試行を開始しました。タブレット端末で、電子化した議案等を閲覧することにより、スムーズな会議運営と紙資料の削減ができるようになりました。試行期間後の5年度からペーパーレス会議の本格実施を目指します。



タブレット端末を使用した本会議の様子

主な議案

11月定例会で審議した主な議案の概要は次のとおりです。

令和4年度静岡市一般会計補正予算（第6号）

被災住宅応急修理事業（5億8,800万円）

台風15号により被災した家屋について、災害救助法に基づき必要最小限度の応急修理を市が直接実施する予算を増額するもの。

省エネ家電購入促進事業（1億3,500万円）

省エネ性能に優れた家電の購入を助成する事業について、当初の想定以上の申請に対応するため予算を増額するもの。

総合計画

静岡市基本構想、基本計画について

静岡市自治基本条例第15条第1項の規定に基づき、本市基本構想及び基本計画を議会の議決を経て定めるもの。

基本構想は「市民（ひと）が輝く」「都市（まち）が輝く」の2つの要件を兼ね備えたまちを定義とし、『世界に輝く静岡』の実現」を目標に掲げている。

基本計画は、基本構想に基づき、5年度から12年度までの8年間に実施する政策や施策の体系を明らかにし、具体的な事業展開の方向性を示すもの。

条例の制定

静岡市不良な生活環境を解消するための支援及び措置に関する条例の制定について

良好な生活環境を確保するための支援及び措置に関する必要な事項を定めることにより、市民が安全かつ安心して快適に暮らすことができる地域社会の実現に資するため、本条例を制定するもの。

令和4年度静岡市一般会計補正予算（第7号）

農地災害復旧事業（7億2,310万円）

被災箇所…わさび田13か所、茶畑24か所、果樹園16か所、その他9か所
実施内容…土砂撤去、原形復旧、測量設計



被災した農地（わさび田）

出産・子育て応援給付金給付事業（4億7,250万円）

すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、伴走型の相談支援と経済的支援を一体として実施するもの。



補正予算の概要



議案

デジタル社会推進特別委員会が提言書を提出しました

デジタル社会推進特別委員会が令和4年10月25日に田辺市長に提言書を提出しました。提言書には、行政のデジタル化推進に必要な予算措置、推進体制強化及び人材の育成、台風15号の被害で課題が浮き彫りになった災害時情報の集約と発信の強化の3つの提言をまとめました。行政による機動的かつチャレンジ的なデジタル施策が次々と打ち出されることで、市民が早期にその利便性の向上を感じるようになることが期待されました。



まちづくり拠点調査特別委員会で講演を聞きました

令和4年11月14日に開催したまちづくり拠点調査特別委員会では、深澤陽一衆議院議員を講師に迎え、駿河湾スマートオーシャン構想について講演いただきました。講演では、AIや脱炭素などの技術を活用し問題解決を図るスマートオーシャンの説明や清水港の海洋研究拠点としてのポテンシャルの高さなどを紹介いただきました。



深澤陽一衆議院議員